

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【公表番号】特表2017-533969(P2017-533969A)

【公表日】平成29年11月16日 (2017.11.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-044

【出願番号】特願2017-544552(P2017-544552)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/198 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/375 (2006.01)

A 6 1 K 33/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/235 (2006.01)

A 6 1 K 31/685 (2006.01)

A 6 1 K 31/355 (2006.01)

A 6 1 K 31/047 (2006.01)

A 6 1 K 33/42 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

C 0 7 D 307/62 (2006.01)

C 0 7 D 311/72 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/198

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/375

A 6 1 K 33/04

A 6 1 K 31/235

A 6 1 K 31/685

A 6 1 K 31/355

A 6 1 K 31/047

A 6 1 K 33/42

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/14

C 0 7 D 307/62

C 0 7 D 311/72 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月12日 (2018.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

N - アセチルシステインアミド ( N A C A ) を含む、ほ乳類における網膜色素変性症の治療剤又は予防剤。

**【請求項 2】**

N A C A が、薬学的に許容される担体中、又は薬学的に許容される担体と共に提供される、請求項 1 に記載の治療剤又は予防剤。

**【請求項 3】**

N A C A が、眼内、網膜下、硝子体内、経口、静脈内、筋肉内、髄内、クモ膜下腔内、心室内、経皮、皮下、腹腔内、鼻腔内、経腸、局所、舌下、又は直腸内に投与される、請求項 1 又は 2 に記載の治療剤又は予防剤。

**【請求項 4】**

N A C A が、ミニ錠剤、カプセル、錠剤、発泡剤、2 段階放出、混合放出、サシェ、粉末、又は液剤を介して経口的に送達される、請求項 3 に記載の治療剤又は予防剤。

**【請求項 5】**

N A C A が、1 日用量 0 . 5 ~ 1 5 0 m g / K g で投与される、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の治療剤又は予防剤。

**【請求項 6】**

N A C A の投与の用量が、1 回当たり 1 0 0、1 5 0、3 0 0、3 3 3、4 0 0、5 0 0、6 0 0、7 0 0、7 5 0、8 0 0、9 0 0、1 , 0 0 0、2 , 5 0 0、5 , 0 0 0、7 , 5 0 0、又は 1 0 , 0 0 0 m g である、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の治療剤又は予防剤。

**【請求項 7】**

N A C A が、夜間視力の欠損、全体的な視力の欠損、視野の欠損のうちの少なくとも 1 つを、2 週間、1 カ月、2 カ月、3 カ月、6 カ月、1 年、2 年、又は 5 年のうちの少なくとも 1 つから選択される規定された期間にわたり、未治療の対照対象と比較して少なくとも 1 0 %、少なくとも 1 5 %、少なくとも 2 0 %、少なくとも 2 5 %、少なくとも 3 0 %、少なくとも 3 5 %、少なくとも 4 0 %、少なくとも 4 5 %、少なくとも 5 0 %、少なくとも 5 5 %、少なくとも 6 0 %、少なくとも 6 5 %、少なくとも 7 0 %、少なくとも 7 5 %、少なくとも 8 0 %、少なくとも 8 5 %、少なくとも 9 0 %、少なくとも 9 5 %、又はそれ以上減少させる治療有効量で投与される、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の治療剤又は予防剤。

**【請求項 8】**

N A C A が、1 日 2 回又は 3 回投与される、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の治療剤又は予防剤。

**【請求項 9】**

N A C A が、第 2 の活性薬剤と共に投与される、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の治療剤又は予防剤。

**【請求項 1 0】**

N A C A が、アスコルビン酸、システイン塩酸塩、硫酸水素ナトリウム、メタ重亜硫酸ナトリウム、亜硫酸ナトリウム、パルミチン酸アスコルビル、ブチル化ヒドロキシアニソール ( B H A )、ブチル化ヒドロキシトルエン ( B H T )、レシチン、没食子酸プロピル、  
- トコフェロール、クエン酸、エチレンジアミン四酢酸 ( E D T A )、ソルビトール、酒石酸、又はリン酸のうちの少なくとも 1 つから選択される第 2 の活性薬剤と共に投与される、請求項 9 に記載の治療剤又は予防剤。

**【請求項 1 1】**

ほ乳類がヒトである、請求項 1 ~ 1 0 のいずれかに記載の治療剤又は予防剤。